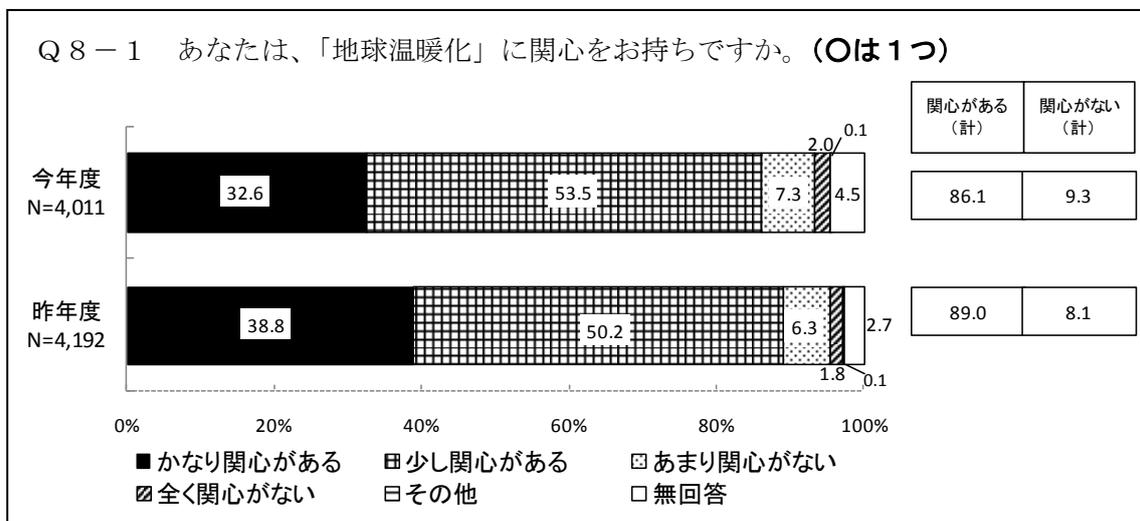


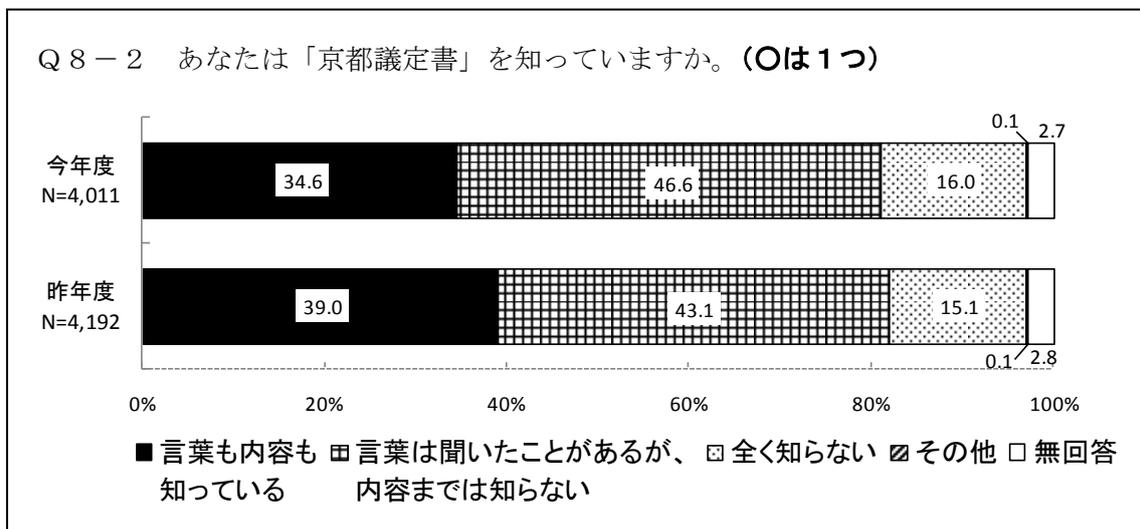
8. 地球温暖化について

8-1. 地球温暖化への関心度



地球温暖化への関心度について、「かなり関心がある」と「少し関心がある」を合わせた『関心がある(計)』が86.1%に上り、関心度は非常に高い。昨年度と比較すると、『関心がある(計)』が2.9ポイント低下、『関心がない(計)』が1.2ポイント上昇している。

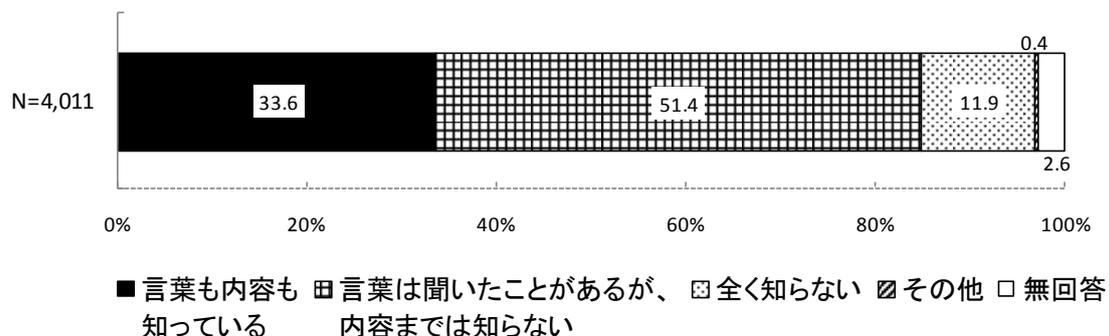
8-2. 「京都議定書」の認知度



「京都議定書」の認知度について、「言葉も内容も知っている」が34.6%、「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」が46.6%となっている。昨年度と比較すると、「言葉も内容も知っている」が4.4ポイント低下、「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」が3.5ポイント上昇している。

8-3. 国の温室効果ガス排出量の中長期目標についての認知度

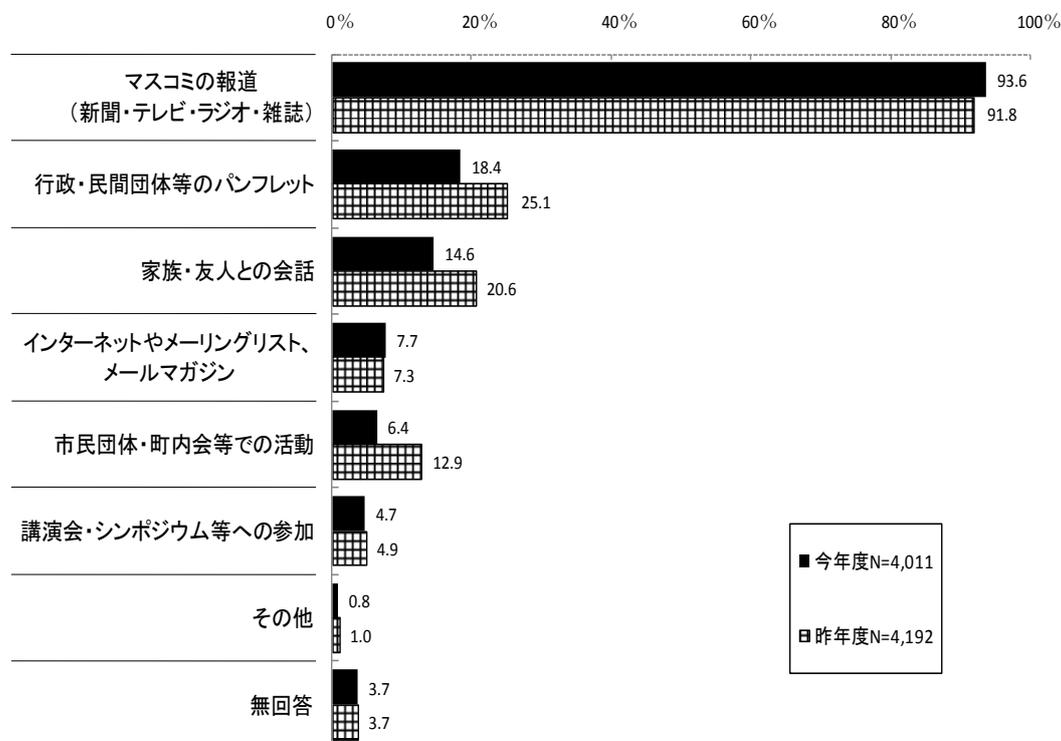
Q 8-3 あなたは国の温室効果ガス排出量の中長期目標「中期的には2020年までに1990年比で25%削減、長期的には2050年までに80%削減する」を知っていますか。(〇は1つ)



国の温室効果ガス排出量の中長期目標について、「言葉も内容も知っている」が33.6%、「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」が51.4%、「全く知らない」が11.9%となっている。

8-4. 環境に関する情報の認知媒体

Q 8-4 あなたは環境に関する情報を何から得ていますか。(〇はいくつでも)



環境に関する情報の認知媒体について、「マスコミの報道 (新聞・テレビ・ラジオ・雑誌)」が93.6%と最も高く、次いで「行政・民間団体等のパンフレット」(18.4%)、「家族・友人との会話」(14.6%)、「インターネットやメーリングリスト、メールマガジン」(7.7%)、

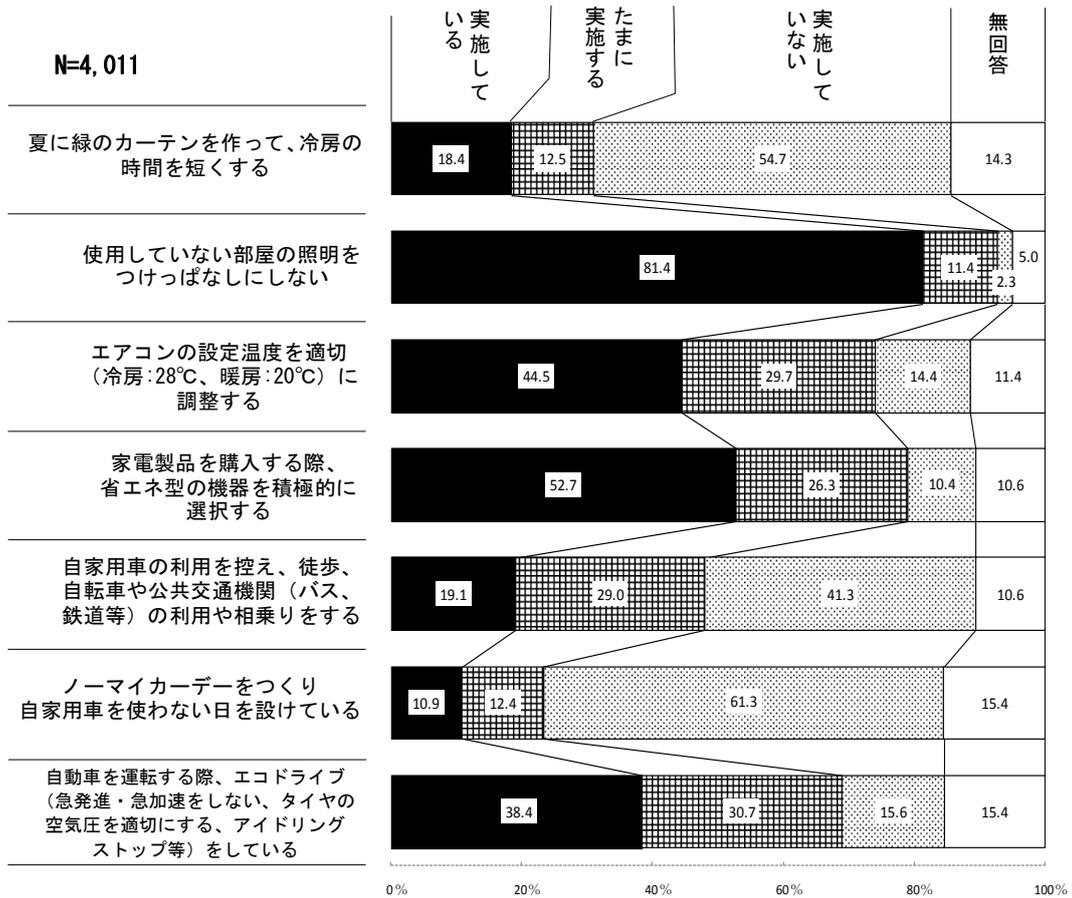
「市民団体・町内会等での活動」(6.4%)、「講演会・シンポジウム等への参加」(4.7%)の順となっている。昨年度と比較すると、「マスコミの報道(新聞・テレビ・ラジオ・雑誌)」では1.8ポイント上昇しているが、「行政・民間団体等のパンフレット」で6.7ポイント、「家族・友人との会話」で6.0ポイント、「市民団体・町内会等での活動」では6.5ポイント低下している。

8-5. 地球温暖化防止のための取組

Q 8-5 あなたの日常生活において、地球温暖化防止のために、どのような取組を行っていますか。

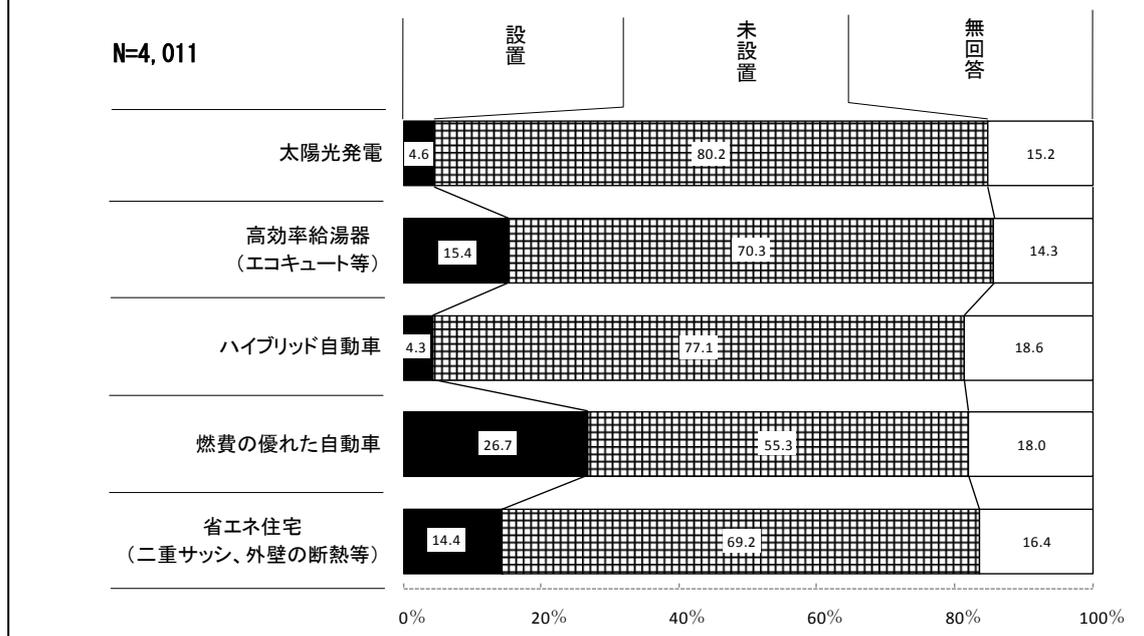
(1)から(2)までの項目のそれぞれの「実施状況」について、該当するものいずれか一つを○で囲んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

(1) 家庭での省エネルギーの取組



地球温暖化防止のための取組【家庭での省エネルギーの取組】について、「実施している」が、「使用していない部屋の照明をつけっぱなしにしない」(81.4%)では8割を超え、「家電製品を購入する際、省エネ型の機器を積極的に選択する」(52.7%)、「エアコンの設定温度を適切(冷房:28℃、暖房:20℃)に調整する」(44.5%)で4割を超えて高くなっている。

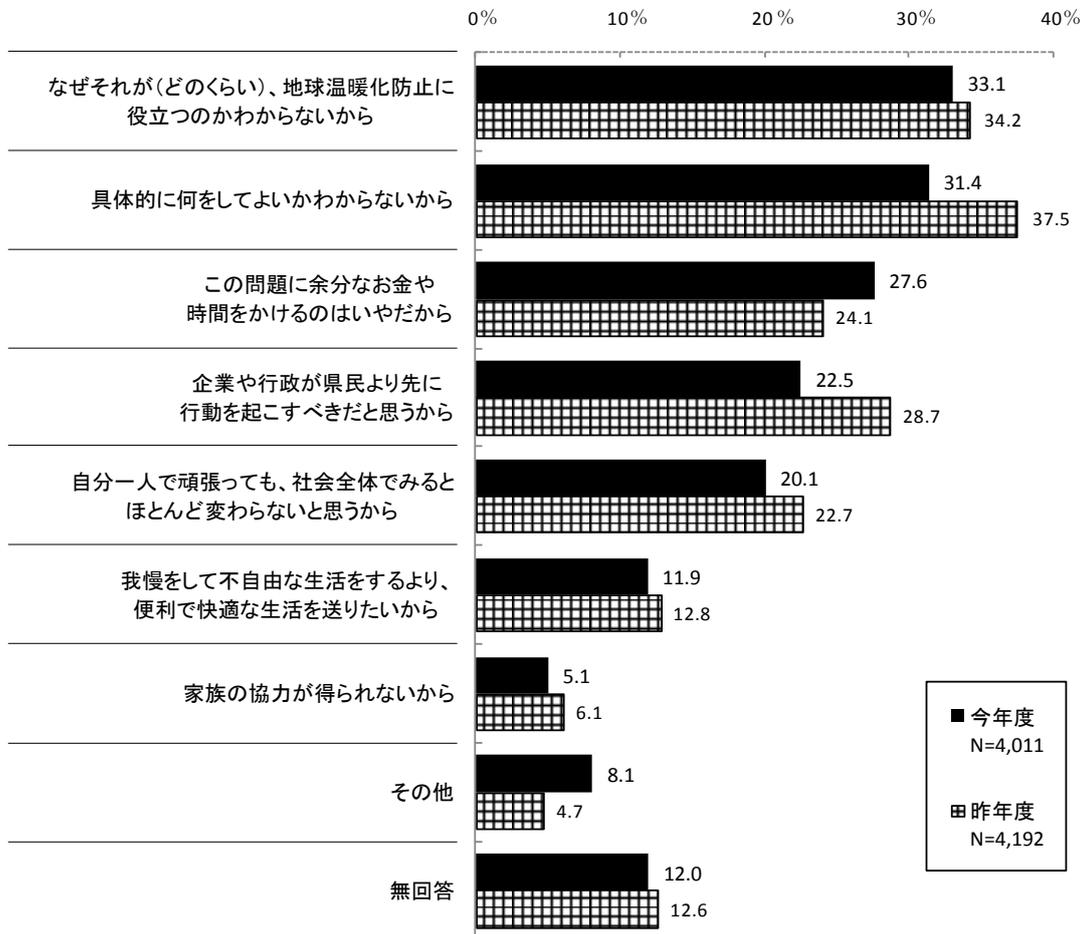
(2) 新エネルギー・省エネルギー機器等の設置



地球温暖化防止のための取組【新エネルギー・省エネルギー機器等の設置】について、すべての項目において「未設置」が高くなっているが、「燃費の優れた自動車」(26.7%)では「設置」が2割を超えている。

8-6. 温暖化防止行動に取り組みにくい理由

Q8-6 温暖化防止行動を行う場合、取り組みにくい理由は何ですか。現在活発に活動されている方も、取り組みスタート当初の頃を思い出して記入してください。(〇は3つまで)



温暖化防止行動に取り組みにくい理由について、「なぜそれが(どのくらい)、地球温暖化防止に役立つかわからないから」(33.1%)、「具体的に何をすればよいかわからないから」(31.4%)が3割を超え高く、次いで「この問題に余分なお金や時間をかけるのはいやだから」(27.6%)、「企業や行政が県民より先に行動を起こすべきだと思うから」(22.5%)、「自分一人で頑張っても、社会全体で見るとほとんど変わらないと思うから」(20.1%)などの順となっている。昨年度と比較すると、「この問題に余分なお金や時間をかけるのはいやだから」が3.5ポイント上昇しているが、他の項目では、すべて昨年より下回っている。